

カルバペネマーゼ鑑別用簡易迅速キット

CARBA PAcE



Pseudomonas属、Acinetobacter属、Enterobacterales のカルバペネマーゼ産生性を迅速に鑑別できる製品です。

特長

- 単離コロニーを利用して、約10分で鑑別することができます。
- 操作が簡単です。
- 色調の変化でカルバペネマーゼの産生を確認できます。

キット構成



- Vial PEL (ペレット入りバイアル) 12回分/バイアル×4本
- Vial RB (溶解用緩衝液) 12回分/バイアル×4本
- 0.5 mLチューブ 48本

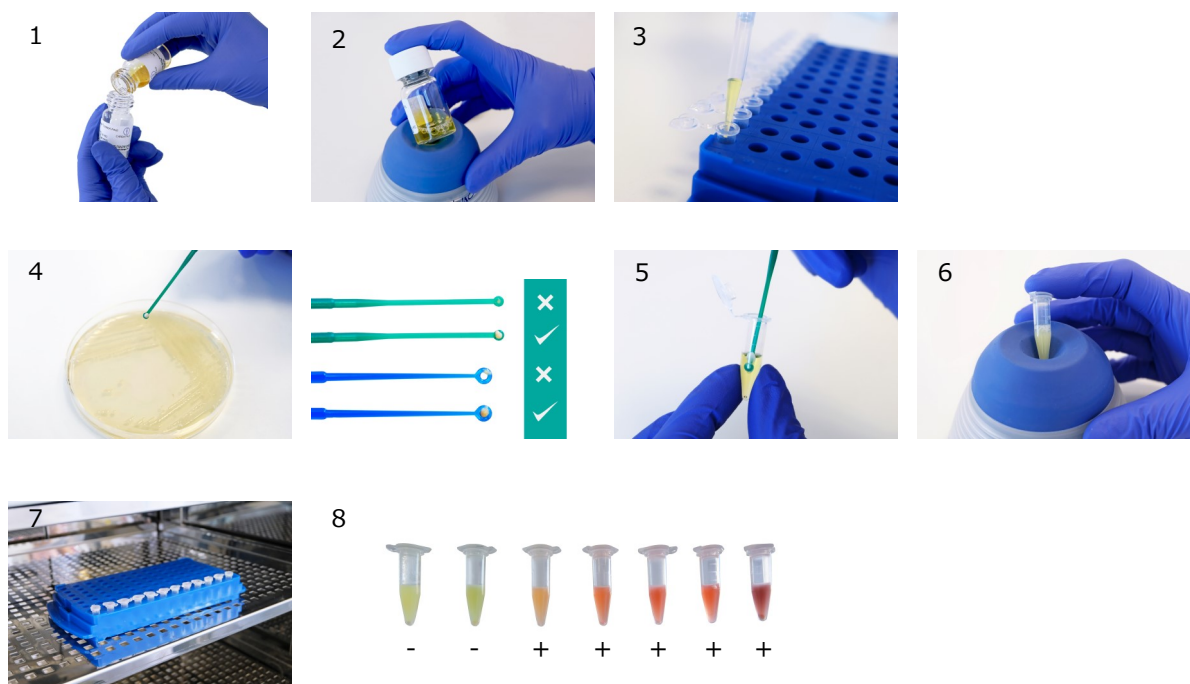
製品名	包装	製造後 使用期限	保管温度	製品番号
CARBA PAcE	48回用	1年	2~8℃	74060

関連製品

製品名	包装	製造後 使用期限	保管温度	製品番号
クロモアガー mSuper CARBA生培地	10枚	3ヶ月	2~8℃	72141
クロモアガー mSuper CARBA/ESBL分画培地	10枚	3ヶ月	2~8℃	72148
クロモアガー mSuper CARBA/C3GR分画培地	10枚	3ヶ月	2~8℃	72150
カルバペネマーゼ鑑別ディスク Plus	50回分	1年	2~8℃	74056
シカジーニアス®カルバペネマーゼ遺伝子型検出キット2	30回分	2年	-25~-20℃	08158-96

使用方法

1. 溶解用緩衝液 (Vial RB) をバイアル入り凍結乾燥ペレット (Vial PEL) に加える。
2. 室温に1分間置き完全に溶解させた後、10秒間穏やかに攪拌する。
(溶解液が黄色になっていることを確認し、黄色でない場合は使用しない。)
3. チューブ1本当たりに 250 μ L ずつ分注する。
4. 新鮮な単離コロニーを1~5 μ Lの白金耳いっぱいにつけて釣菌する。
5. 分注した反応液によく懸濁する。
6. ボルテックスミキサーにて20秒間よく攪拌する。
7. $35\pm 1^{\circ}\text{C}$ で10分間保温する。
8. 反応液の色を確認し、橙~赤色に呈色した場合、カルバペネマーゼ産生と推定する。
(遅くとも保温後20分以内には色調の変化を確認する。)



性能および注意点

- 感度96%、特異度91%の結果が得られています。(MAST社資料より抜粋)
- GES型のカルバペネマーゼは検出が難しい場合があります。
- 一度溶解させた反応液を保存する場合は $2\sim 8^{\circ}\text{C}$ で保存し、4週間以内を目安に使用してください。
- 本製品は試験研究用試薬です。得られた結果は他の検査結果とあわせて解釈してください。

※本試薬に使用されているHMRZ化合物は、学校法人北里研究所 北里大学の花木秀明先生が開発されました。

 **関東化学株式会社**
試薬事業本部 試薬部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL: 03-6214-1090

HP: <https://www.kanto.co.jp>